

支部総会を10月20日開催 ぜひご出席ください

集え！ 同窓会にー。津山高校同窓会岡山県南支部の令和元年度総会・懇親会を10月20日（日）午前11時から、岡山市北区下石井のアークホテル岡山で開きます。2年に1回開催する総会です。一人でも多く出席いただき、津山の話で大いに盛り上がりましょう。

当日は先ず総会から始めます。同窓会本部や母校関係者らのあいさつをいただいた後、平成29・30年度の事業報告案、収支決算報告案を審議していただき、任期満了に伴う役員改選案もお諮りします。

引き続き、記念講演に移り、倉敷市の「語らい座大原本邸」館長の山下陽子さん（昭和50年卒。県南支部副支部長）に「語らい座 大原本邸～catalyzer（触媒）を目指して～」と題して、昨年

4月にオープンした大原本邸開設の狙いなどを話していただきます。

この後はお待ちかねの懇親会です。同窓生同士、世代を超え、いろいろな話をしようではありませんか。アトラクションも用意、作州の銘酒も楽しんでいただきます。同窓会は異業種交流の場でもあります。1人でも多くの人と会いましょう。若い世代の会員も遠慮なく、参加してください。

会費は、昭和期の卒業生は7000円、平成期卒業生5000円、現役学生は無料です。

出席を希望される方は、この会報と一緒にお送りしている葉書で支部事務局までご連絡くださるようお願いいたします。締め切りは9月30日です。



写真はいずれも平成29年度総会・懇親会

令和元年度県南支部総会・懇親会

- 日時 10月20日（日）午前11時開会
- 場所 アークホテル岡山
（岡山市北区下石井2-6-1
電話086-233-2200）
- 会費 昭和期卒業生7000円
平成期卒業生5000円
現役学生は無料





随想

「林住期」

支部長 松本 健五

盛夏の候、県南支部同窓の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

県南支部の会報「県南クラブ」も今回で第25号となりました。創刊号は1995年岡本貴夫支部長の時、発刊されました。その後、田寺英夫、産賀敏彦、草野功支部長を経て小生の支部長の代まで約25年間絶えることなく発刊されてきました。素晴らしいことだと思います。歴代支部長をはじめ会報編集の各委員、会報発行のために寄付をしてくださった会員、および投稿してくださった会員に対して、あらためて心から敬意を表すると共に感謝する次第です。

光陰矢の如し、月日の流れるのは早いものです。皆さんは、五木寛之の「林住期」(幻冬舎)という本をご存じでしょうか。古代インドでは、人生を「学生期」「家住期」「林住期」「遊行期」に分けたそうです。そして50ないし70歳、社会人としての務めを終えた後の、すべての人が迎えるもっとも輝かしい第3の人生を「林住期(りんじゅうき)」(人生の黄金期)と呼んだそうです。

人生を有意義に生きるための基本となる教育を受ける「学生期(がくしょうき)」、次に社会、家族に対する大きな責任を負って仕事に全面的に取り組む「家住期(かじゅうき)」、重い責任の荷を下ろし、自身の意を中心に活動する時期、ある意味において人生のゴールデンタイムを「林住期」、さらにその

後を「遊行期(ゆうぎょうき)」と分けて、それぞれの期の人生の過ごし方を考えています。著者、五木寛之氏の生き方、存念、願望のような内容が書かれています。

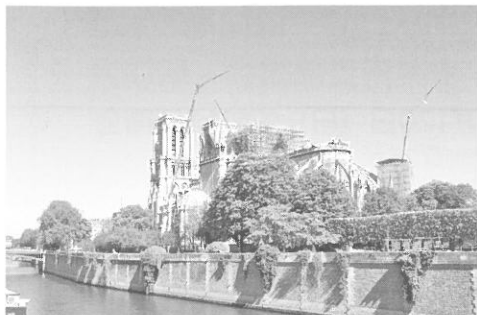
社会から身を引く60歳を、人生の「臨終期」のように考えることをやめようと、そんな思いで書かれたようです。自分が本当にやりたかったことは何なのか問いかける時期が、だいたいこの林住期にさしかかる人だと言われています。

この「林住期」は2007年2月発行です。発行から10年余過ぎ、人生100年時代と言われる現在と世代の数字は若干異なるかも知れませんが。なんとなく実感できる今日この頃です。林住期にさしかかった人は、生活の足しにならないようなことを真剣に考えてみるのも悪くないかもしれません。私もそれにあやかって、自分探しの旅を始めています。

最後になりましたが、会員皆さまのご健勝と支部の発展を祈念しご挨拶とさせていただきます。

令和になって初の「総会・懇親会」が本年10月20日にアークホテルにて開催されます。お会いできるのを楽しみにしています。「タイムスリップ」してみましよう。

(まつもと・けんご。昭和45年卒。岡山市立総合医療センター理事長・岡山市立市民病院院長。美作市・大原中学校出身。岡山市北区在住)



火災に遭ったノートルダム寺院



セーヌ川・ルーブル美術館



パリオペラ座

随想

津山高校近況と御挨拶

津山高等学校・津山中学校校長 菱川 靖人



津山高校同窓会県南支部の皆様には、平素から、物心両面にわたる母校への多大なる御支援、誠にありがとうございます。

今年度、本校は明治28年の創立以来、125年目を迎えています。正門を入ると以前と同じ旧制津山中学校から引き継いだ旧本館が出迎えてくれます。その脇には、昭和36年に移設した津山高等女学校由来の百日紅の樹が、赤と白の花をそれぞれ付けています。以前と変わらぬ風景を残しつつも、これからの時代を生きる生徒たちが、校内を闊歩する姿は、頼もしくも新たな時代を感じさせる風景です。

現在の本校の定員は、1学年、普通科200名、理数科40名の240名となっています。さらに併設中学として1学年80名が加わり、高校3学年で720名、中学3学年で240名、合計960名が日々、現在の津山高校の校舎で学んでいます。平成27年度に新設された津山中学の第1期生が、現在高校2年生となっています。生徒の様子は、昔から変わらず素朴で、授業中は、静かに授業に集中する様子が見られます。そして多くの生徒が目を輝かせながら、自分たちの将来に向けて、学び取ろうとする強い意志も感じます。全校960名と雖も、平成の初めに比べると教室には余裕が感じられます。その分、分割授業や習熟度別授業を細かく展開し、生徒が主体的に学べる環境の構築を目指して取り組んでいます。

部活動についても活躍が見られます。昨年度は、文化部では科学部と書道部が、運動部では陸上競技部と弓道部が全国大会に出場し、中国大会には、さらに報道部、水泳部、剣道部が出場しました。全国大会に出場した陸上競技部は、インターハイでは活躍できなかったものの、U18日本陸上選手権大会において、100mで全国第2位に入る快挙でした。

今年度は、平成29年度に再指定されたSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)事業5年間の3年目にあたり、文部科学省の中間評価の時期を迎えています。今期のSSHのテーマは、「未来を切り拓くトップサイエンティストの基盤となる‘V: Vision’, G: ‘Grit’, R: ‘Research Mind’の育成」を掲げ、生徒の主体的な学びをもとに新時代を切り拓く人材の育成に取り組んでいます。特に学校設定科目として開設した「サイエンス」科目では、理数科だけでなく、普通科、また併設中学も含めて課題研究を必須とし、思考力や課題解決能力を育てることで、新指導要領や大学入試共通テスト(新テスト)への対応を考えています。また、高校では、最先端の大学レベルの講義を受けるワークショップを中心とした科目を設け、高いレベルの学問に触れることで、生徒の主体的な学びにつなげる取り組みを行い、これらにより、次代を生き抜く力の養成に努めています。

グローバル感覚、そして探究心や課題発見・解決能力の育成が求められる時代、自ら学べる生徒を育成し、より高みを目指して学び続ける津山高校生を育成していきたいと思っております。今後とも、御指導と御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



(ひしかわ・やすと。昭和53年卒。津山市・久米中学校出身。津山市在住)

随想

卓球の楽しみと、旧津中、津高卓球部への想い—

国立病院機構岩国医療センター名誉院長 河野 宏



8年程前から旧制津山中学時代にやっていた卓球を再開し楽しんでいる。65才の定年を過ぎて岡山へ帰り、しばらくは倉敷の病院勤務をしていたが、ここ10年あまりは週2回、お手伝いをする程度で時間的余裕があった。写真には力をいれていたが、余暇を楽しむのも限度があり、何となく運動不足を感じていたので、昔取った杵柄、卓球に取り組むことにした。幸い、岡山に適当なクラブがあったので、そこにに入れてもらい週2回の練習を楽しんでいる。

話はさかのぼるが、昭和20年8月、太平洋戦争終戦の時に私は旧制津山中学（現在の津高の前身）の2年生であった。戦時中は授業科目であった柔道と剣道以外のスポーツの部活は殆ど禁止されており、終戦と共に堰を切ったように、野球、テニス、バレーボール、陸上競技、水泳、ハンドボール、バスケットボールなどと共に卓球も盛んになってきた。ただその頃、体育館はなく、卓球以外は今と違って全てグラウンドを分け合って行われていた。

その年の秋頃、よく遊びに行っていた田舎の叔母の家に卓球台があったことから、近所の仲間と一緒に卓球を始め、間もなく私が一番強くなり卓球に少し自信をもっていた。津山中学には、現在ある校門を入り右に進んだ突き当たりに、木造の雨天体操場があり、そこに卓球台が3台ほど置いてあった。卓球台といえば聞こえはよいが、古くなった黒板を繋いで、それをミカン箱の上に置き、真ん中に板を置いてネットがわりにしたお粗末なものである。それでも、昼休みの時間にはプレイの順番を待つ行列ができるほど盛んであった。

当時、すでに卓球部もあったが、顧問に選ばれた数人の部員だけで、誰でも入部できるわけではなかった。雨天体操場で卓球を遊びごととしてやっている内に、私が当時の顧問・衣笠巖先生の目にとまったのであろう、卓球部に入れてもらえ、大変嬉しかったのを覚えている。卓球部に入ってから、現在も保存されている本館の2階にある広い講堂を

使って、4台の正式の卓球台で、放課後ではあったが練習に励むことができた。

当時、津中の卓球部は県内では旧関西中学と共に強豪であり、特に1級上の安田昇さん（昭24年津高第一期卒）は昭和22年の国体の中学の部で準優勝したし、県下ジュニア卓球大会の団体でも、津中Aチームは優勝し、私が出場したBチームは2位になっている。その後も2級下の奥村卓雄、安東達君らは昭和23年、学制改革で津山成美高校（3年後、県条例により再び津山高校と改名）になってから、全日本高校卓球大会の団体で3位あるいは準優勝し、奥村君は昭和26年の国体で優勝している。彼らの時代は県下では常勝で卓球部の黄金時代を築いていた。

顧問の衣笠先生は旧制津中柔道部の師範として、全国中等学校柔道大会で7回連続優勝という偉業を遂げられ、「白帯の津中」の名声を全国に広めた名指導者であったが、戦後は柔道が禁止されたため卓球部の顧問を務められたのであろう。

私は卒業後、岡大医学部に進学し、卓球部と野球部に所属したが、病気で1年休学したため、復学後はクラス対抗、卒業後は岡大病院の医局対抗などの試合にでて、細々と卓球を続けていた程度であり、病院勤めをするようになってからは殆ど卓球とは縁がなかった。

80才を過ぎて運動不足を補うため、前記のように卓球を再開した。1～2回練習している内に昔の感覚は取り戻したが、高齢による体の動き、動体視力の衰えは如何ともしがたく、思い通りにプレイ出来ないもどかしさは否めなかった。それでも60才代位で始めたり、再開した、私より10才以上若い人たちとほぼ対等に打ち合えるようになり、元卓球部員の誇りだけは保っている。2ヶ月に一度くらいは岡山県あるいは市の卓球協会が主催する試合にも参加し、下位の部ではあるが、5割くらいの勝率をあげることができている。

あるとき、古いアルバムを見ていて、私が中学3年生の時（昭和21年）に衣笠先生を囲み、校門で撮



衣笠先生を囲む旧津中卓球部員（後列右から3人目が河野さん）

影した卓球部員の写真を見つけた（写真参照）。ふと、今、母校の卓球部はどうなっているのだろうかと思ひ、津山高校の事務局にメールで卓球部について尋ねたところ、折り返し顧問の井上博先生から“土曜日にはほぼ全員が集まって、創立100周年記念館で練習しているのでおいで下さい”との返事を頂き、平成28年4月に卓球ボールを手土産に、後輩たちの練習風景を見学させてもらった。練習場は創立100周年記念館の広いホールで、大変恵まれた条件で練習している。見学だけの積もりであったが、見ているうちに、一寸手出ししたくなり、キャプテンらと30分ほど手合わせをしてもらった。勿論、若いだけに彼らに太刀打ちはできなかったが、さすが卓球部員、皆さん礼儀正しく、少しばかり懇談もでき、大変楽しい一時を過ごした。久しぶりに母校を訪ねて、昔を思い出しながら感慨にふけたものである。

私が在学した昭和20年代の津山中学、津山成美高校は現在のような受験戦争が激しくなかったためもあるが、体育部の部活は盛んで、特に卓球、ハンドボール、水泳、陸上競技など、県内はおろか、全国大会でも上位を占めることが間々あった。水泳部で活躍していた同級生の芦田拓郎君などは、早大時代にオリンピックの最有力候補にもなったが、直前に調子をくずし参加出来なかったのは心残りだった。

昨今、新聞紙上などで津山高校のスポーツでの活躍を目にする機会は殆どなくなったのは残念である。校風である文武両道を実行するのは、受験校として大変難しいことであろうが、スポーツをやることによって、後の人生に必要な努力、忍耐力、真摯な態度など様々な経験を得ることが出来る。その成績が良いにこしたことはないが、結果に拘ることなく、学業同様スポーツにも励んでもらいたいものである。

〈このひろし。昭和25年卒、津山市立男子尋常小学校（現津山市立北小学校）卒、岡山市中区在住〉

献血同窓会

献血にご協力を！！

献血ルーム「ももたろう」で

10月26日実施

「POWER OF 献血♡」。社会貢献活動の一環として、県南支部の事業として、今年から献血活動に取り組むことにしました。献血は支部会員と家族、友人らが対象で、会員が集まる機会を増やして年代を超えた交流を図るほか、食生活や生活習慣を見直すきっかけにし、いつまでも健康に過ごそうという狙いです。

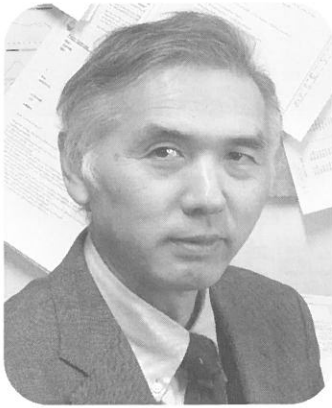
実施日は10月26日（土）。午後2時～5時受け付けで、岡山市北区表町の岡山シンフォニービル1階の献血ルーム「ももたろう」で行います。通常の待合室とは別のボランティア室を予約しています。献血後や比重不足で献血できなかった場合でも、同窓生同士でゆっくり話ができて、休憩も可能です。

献血の種類は、全血献血が200、400^ミリットル、成分献血が血しょう成分献血と血小板成分献血の計4種類あります。献血量や年齢、体重の条件がそれぞれ違いますが、年齢は16～69歳、体重は男性45^キ以上、女性40^キ以上が一応の基準となります。65歳以上の献血は60～64歳の間に献血経験がある人に限られます。

献血が初めての方は、本人確認ができる証明書（運転免許証でOK。氏名、生年月日、顔写真付き）をご持参ください。

車で来られる方には、「ももたろう」契約駐車場の駐車券（献血受け付け時刻から献血終了後30分まで）がもらえます。

詳しくは「ももたろう」のホームページまたは支部事務局（090-4801-6483）にお願いします。



随想

豊かな時間

岡山大学大学院自然科学研究科

富岡 憲治

津山高校を卒業して45年になる。大学卒業後も大学に残り研究を続けてきたが、それもあと少しとなった。ずいぶん長い間研究を続けているが、研究には終わりが無く、いわば玉ねぎの芯を探すようなものだ。一つの皮をむいて少し中が見えたと思っても、さらに次々に疑問が湧いてくる。それでも、だんだんと核心に近づいていくので、ますます面白くなることだけは確かである。私も、停年が近づいてきたこの年になって、いよいよ面白さを感じている。それと同時に、時間の大切さを身に染みて感じている。

大学に職を得て以来、生物と時間に係わる研究を続けてきたので、直接扱ったわけではないが、時間の感覚についてはずっと興味を持っている。最近、忙しくなりすぎて「時間が崩壊している」といった表現も聞くことがある。そこで、我々ヒトの時間の感覚について、少し齧ったところを紹介してみたい。

たいていの人は、子供のころの時間はゆっくりと流れ、成長するにつれて時間は早く過ぎ去ると感じている。脳研究者によると、過ぎ去った時間の長さは脳に蓄えられた記憶の量によって測られているらしい。例えば、記録テープの端からどこまで記録があるのかによって主観的な時間の長さが変わる。私たちは一日の生活の中で様々なことを経験している。しかし、これらのすべてが記憶に残るのではない。強く感動するような出来事が、記憶されるといふ。子供は、身の回りで起こる些細な出来事にも関心をもつ。例えば、蟻の行列を見るととき、おそらく

大人はほとんど何も気につけないだろう。しかし、小さな子供は、蟻が隊列を組んでいったいどこへ行くのだろうか、どこに虫の死骸を運んでいくのだろうか、と深い関心をもってじっと観察するのである。空を行きかう雲にしても同様だ。こういった関心をもって見るといった行為によって、今見たものが脳に記憶として刻まれるのである。このように、子供は多くのことに関心を寄せ、感動し、多くのことを記憶する。それが子供の時間の流れを豊かにしている。

一方、大人は、日常のほとんどのことをありふれた出来事として、大した関心もなく、過ごしている。だから、脳に記憶されることは数少なく、振り返ってみたときに時間はあっという間に過ぎ去ったという気持ちになるのである。

ではどうすれば良いのか。記憶は感動によって蓄積されるとのことである。私たちも、感性を豊かにすることによって、身の回りの出来事に感動し、記憶の量を大いに増やすことは可能である。身近にある自然の中に素晴らしさを見つける、人とのかかわりの中に感謝を見つける、温かいニュースにとともに喜ぶ、など、些細なことではあるが、これを実践することによって、私たちの時間をより豊かなものにすることができるだろう。

私自身の人生も確実に終わりに近づいている。その限りある時をできる限り豊かに過ごしたいと願っている。

(とみおか・けんじ。昭和49年卒。津山市・津山南中学校出身。岡山大学理学部長。岡山市北区在住)

随想



むかしむかしのインド紀行

リョービツアーズ 取締役本部長 可児 利昭

今から30数年前、私が入社して仕事に慣れてきた頃のエピソードを少しご紹介させていただきます。私が入社した会社は旅行会社です。当時は海外旅行に行かれる日本人も徐々に増えてきており、バブル到来の前であります。ハネムーンは国内旅行から海外旅行が主流になっていた時代です。

入社して1週間後には、京都の添乗業務を任されるなど、社員教育は古い体質で『ぶっつけ本番の身体で覚えろ』的な指導を受けてまいりました。1ヶ月後には沖縄へ毎週のように添乗に行く日々が続きましたので、GW、お盆、お正月は岡山にいることはまずありませんでした。

海外旅行の添乗業務にも慣れてきた頃、私はインドツアーを任されることになりました。その当時、インドへ旅行に行く人は宗教関係者が仏跡参りに行かれるか、または、海外旅行で刺激的な体験を期待する若い女性の2タイプに大きく分かれていました。当然、私は、前者の宗教関係者を20名〜多いときには100名近い方をご案内するツアーを担当しておりました。個人的には後者の添乗業務を期待していたのですが…。

当時、日本からインドへの便はインド航空かタイ航空を使用するケースが多く、団体旅行は運賃の安価なインド航空をよく利用していました。インド航空は週に2便、日本〜インド（カルカッタなど3都市）間を運航しておりましたので、ツアー日程も12日間または15日間などの長期のツアーが主流でした。

その当時は、インド航空も他のアジアの航空会社と同様、時間どおりに飛ばないことがよくありました。一度、伊丹空港からカルカッタへ飛ぶインド航空が20時間も遅延するというトラブルがありました。ちょうどその飛行機に私のご案内するお客様が70名様ほど搭乗する予定でしたので、ちょっと大変でした。岡山のお客様だったので岡山へもう帰ることでできず、大阪のホテルへ泊まることになりました。ホテルはインド航空が全額負担するという条件だったのでお客様もすんなりOKで宿泊されました。

その大阪のホテルは『大阪プラザホテル』という当時はデラックスクラスのホテルで、いつもインド旅行で宿泊するバンガロー（ホテルタイプのペンション）よりかなり上質だったこともあり、クレームなどはなく、ゆっくり過ごされていました。（宗教関係者のお客様なのでトラブルが発生してもお釈迦様が良い方向に導いてくださるという悟りのような思いをお持ちなので、大きな声を上げる方はいらっしゃいませんでした。助かりました。）

その日の私はというと旅行スケジュールが1日少

なくなってしまったので、現地インドの旅行会社（デリー）へ国際電話をホテルの部屋から何度も連絡して、スケジュール調整に奮闘しておりました。調整ができたのが明け方で、その日は徹夜したことを覚えております。当時は若かったので徹夜ができたんですね〜!! また、ホテルチェックアウト時に国際電話代があまりに高額で、現金で支払うことができなかったので請求書を会社に送ってもらったことも覚えております。

なんとか翌日、インド航空に乗って香港経由でカルカッタにやっと到着することができました。深夜22時頃の到着なので、お客様を疲れさせないために、どれだけ早く入国審査・税関審査をパスするかが添乗員の腕の見せ所でした。当時は超アナログ的な入国手続きでした。審査台は2〜3ヶ所で、審査官は腕の病気かと思うくらいのゆっくりした動作で、1人ずつ丁寧に入国審査のスタンプをパスポートに押ししているのです。うわ〜！これだったら通過するのに何時間かかるかな〜とインド初心者の頃は思っていました。インド旅行のベテラン添乗員になると慣れたもので、目立つところに立っているとその審査官たちのボスどころあいを見て私に歩みよってきて別室へ案内するのです。別室ではそのボスに、いつものように挨拶をして、いつものようにプレゼントを渡すのです。すると先ほどまではゆっくりしていた審査官の腕のスピードが4倍速のような勢いでスタンプを押ししてくれるのです。そうです。当時はこの『袖の下』作戦が当時は通用していたんです。

次の税関検査も同じことを行くと、通常は荷物チェックで何個かトランクを開けられて隅々までチェックされてと〜ても時間がかかるのですが、チェックはまったくなくなり荷物を運ぶのを手伝ってくれるほどのサービスをしてきていました。今では考えられないようなことですよ!!

この税関を通ると馴染みの日本語ガイドが私たちを出迎えてくれています。ここからインド仏跡ツアーの始まりです。その頃のインド仏跡ツアーに添乗へ行くと体重が3〜5kgは減って帰ってくるという体力勝負の業務でした。今はダイエットしても体重が減りませんが…若くなければできない業務でした。

現代のインドは私がこれまでお話しました当時とは異なり、デジタル化した超近代都市に変わっていますので安心してご旅行に行ってください。本場のインドカレーとナンを食べてみてください!!

（かに・としあき。昭和52年卒業。津山市・津山北中学校出身。岡山市北区在住）

第25号

津山高校 県南クラブ



津山高校県南同窓会・絵画クラブ

洋画家 **福島隆壽**
(昭和25年卒)

光風会名誉会員・岡山支部代表
日展会員・審査員・岡山日展会会長
岡山県展審査員・山陽新聞賞(文化功労)
倉敷市文化賞

〒710-0013 倉敷市中帯江833-48
TEL (086) 425-9187

中学生にもわかる 放射線・放射能と原子力発電

安東 醇 著
(昭和29年卒)

通商産業研究社 発行
定価 本体 1,200円+税

(医) 福島内科医院・ 介護医療院ふくしま

サ高住「ケアホーム静和」・居宅介護支援事業所

理事長 **草野 功**
(昭和31年卒)

〒700-0027 岡山市北区清心町3番18号
TEL (086) 255-1281 FAX (086) 255-1388

カイロプラクティック 行成治療院

院長 **松下行成**

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7
TEL (086) 474-6785

黒明 東洋治 (昭和33年卒)



ハート&コミュニケーション

株式会社ソフィア

代表取締役 **全本親民**
(昭和35年卒)

〒708-0033 岡山県津山市河原町29番地3
TEL 0868-25-1000 FAX 0868-23-5800



人を敬い 人を愛する

株式会社 敬愛

代表取締役 **華山和彦**
(昭和35年卒)

〒700-0904 岡山市北区柳町一丁目3番5号 金光ビル2F
TEL (086) 231-1313 FAX (086) 227-3010
URL: <http://www.keiai21.com> E-mail: hanayama@keiai21.com



JXTGエネルギー(株)特約店 大内石油株式会社

代表取締役会長 **大内宏之**
(昭和37年卒)

本社 岡山市北区御津金川 ☎(086) 724-0844

花尻まきょう町営業所 ☎(086) 254-2030 西大寺松崎営業所 ☎(086) 943-1121
築港営業所 ☎(086) 264-2520 セルブ岡山御津S.S. ☎(086) 724-1181
二軒茶屋営業所 ☎(086) 294-2304 金川営業所 ☎(086) 724-0069

アクト設備株式会社

代表取締役 **保住 長男** (昭和38年卒)

本社 / 〒703-8221 岡山市中区長岡468番地1
TEL (086) 279-7677 FAX (086) 279-7887
津山出張所 / 〒708-0052 津山市田町119番地11
TEL (0868) 22-8505 FAX (0868) 22-8506

◆空調設備・販売・設計・施工・管理◆ビル設備総合メンテナンス
◆赤水、錆、スケールの除去と防錆装置・設計・施工
◆建設業許可岡山県知事許可(般19)第15201号
管工事業・電気工事業・消防施設工事業

和合鍼灸整骨院

〒701-1145 岡山市北区横井上106-1
TEL/FAX (086) 294-8080

リハビリデイサービス 和合の郷金川店

〒709-2133 岡山市北区御津金川314-1 TEL/FAX (086) 724-0850

WHPトレーナー部門

〒701-1145 岡山市北区横井上105番地2階 TEL 090-6401-6060

なかやまクリニック

循環器科・内科・外科
特定健診

中山 頼和
(昭和42年卒)

〒701-0211 岡山市南区東畦112-38
TEL (086) 282-4199

岡山二人クリニック

乳がん検診も始めました



OKAYAMA
COUPLE'S
CLINIC

林 伸旨
(昭和42年卒)

〒701-1152 岡山市北区津高285番地

片山 淑雄


(昭和45年卒)

クリエイティブリンク株式会社

代表取締役 **戸田 豊**
(昭和45年卒)

地方独立行政法人
岡山市立総合医療センター理事長
岡山市立市民病院院長

松本 健五
(昭和45年卒)

水と取り組む・実績と信用
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工
 株式会社 **佐藤管材工業**

代表取締役 **佐藤 三平** (昭和46年卒)

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2
TEL (086) 292-5311(代) FAX (086) 292-5188



株式会社 システムフロンティア

代表取締役 **永禮 一平**
(昭和46年卒)

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号
TEL (086) 264-0326 FAX (086) 264-0326
E-mail: nagare@s-frontier.co.jp
URL: <http://www.s-frontier.co.jp/>

岡山中央法律事務所

元検事
弁護士 **板垣和彦**
(昭和48年卒)

〒700-0821 岡山市北区中山下1-9-1 山陽アルファ中山下ビル6階
TEL (086) 212-2120 FAX (086) 212-2130
URL <http://www.okachulaw.com/>
E-mail itagaki@okachulaw.com

国税局・税務署で長年「相続税」を担当
財産評価・相続対策・相続税申告
岡部正晴税理士事務所

税理士 **岡部正晴** (昭和48年卒)

〒710-1102 倉敷市茶屋町早沖325
携帯 090-6436-5327
TEL (086) 436-8662 FAX (086) 428-0532
E-mail: okabe01114@yahoo.co.jp

第25号


津山高校 県南クラブ



<p>光成法律事務所</p> <p>弁護士 光成卓明 (昭和48年卒)</p> <p>〒700-0816 岡山市北区富田町1-3-15 グランデール2階 TEL (086) 224-2809 FAX (086) 224-2819</p>	<p>人と企業を大切に! 頑張る中小企業の応援団</p> <p>公益財団法人 岡山県産業振興財団</p> <p>専務理事 長森定好 (昭和50年卒)</p> <p>〒701-1221 岡山市北区芳賀5301(テクノサポート岡山) TEL (086) 286-9664</p>	<p>国指定重要文化財 旧大原家住宅</p> <p>語り座 六原本邸 OHARA HOUSE KATALYZER</p> <p>館長 山下陽子 (昭和50年卒)</p> <p>〒710-0046 倉敷市中央1丁目2番1号 TEL (086) 434-6277 URL http://www.oharahontei.jp/ E-mail: yamashita@oharahontei.jp</p>
--	---	--

<p>IT + AI + IoT</p> <p>で、最適なシステム構築をお約束します。</p> <p>RSOL</p> <p>両備システムソリューションズ</p> <p>本社 7702-8006 岡山市中区藤崎584番の5 TEL 099-200-0700 東京支社 〒1108-0014 東京都港区芝五丁目33番1号 森友プラザビル本館16階 TEL 03-5768-7810 大阪支社 〒532-0003 大阪市淀川区瓦町3丁目5番36号 新大阪トラストタワー16F TEL 06-6398-6700</p>	<p>沼元昇 (昭和52年卒)</p>	<p>水と空気を管理する</p> <p>山陽技研株式会社</p> <p>代表取締役社長 井上沙緒 (昭和53年卒)</p> <p>空気調和、給排水衛生設備工事 設計施工 設備設計一級建築士事務所</p> <p>本社 / 〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号 TEL 086-231-0248 FAX 086-224-4765 http://www.sanyo-giken.co.jp 倉敷営業所 / 倉敷市北畠2丁目17番27号</p>
---	--------------------------------	---

<p>株式会社 美作不動産鑑定</p> <p>代表取締役 不動産鑑定士 日笠常信 (昭和55年卒)</p> <p>〒701-0151 岡山市北区平野1020番156 Tel.086-250-7227 Fax.086-250-7027 E-mail mimasaka@city.or.jp URL http://www.mimasaka-real-estate.jp</p>	<p>(株) オーノ 児童デイサービス・放課後等デイサービス (くるくるめろん島・ふる一つ村・もりもりめろん広場・おれんじ村) 日中一時支援 (まーぶるの森) 特定相談支援・障害児相談支援 保育所等訪問支援</p> <p>(医) 大野はぐくみクリニック (旧 大野小児科医院) (株) オーノ 代表取締役 / (医) 大野はぐくみクリニック 理事 大野順子 (昭和61年卒・旧姓 只友) 〒700-0026 岡山市北区奉還町1-2-11 TEL (086) 254-7777 melonjima.net o-hagukumi.net</p>	<p>税理士法人 石井会計</p> <p>代表社員 税理士 齊藤司幸 (昭和61年卒)</p> <p>〒700-0975 岡山市北区今8丁目11-10 TEL (086) 201-1211 FAX (086) 201-1215 URL : http://www.ishii-cpa.com E-mail : ishii CPA@mx4.et.tiki.ne.jp</p>
--	---	---

<p>今号の発行に際しましては、米戸金男様(昭和29年卒)、筆保博文様(昭和34年卒)、蜂谷弘紀様(昭和36年卒)、鷹取洋二様(昭和39年卒)、竹内宏器様(昭和40年卒)、神土純子様(昭和42年卒)からもご芳志を賜りました。深く感謝申し上げます。</p>	<p>“広告協力者”を募っています</p> <p>「広告に協力をさせてもらおうと思うが、名刺広告までは…」と考えられている方を対象に、お名前だけを会報で紹介する制度を設けています。ご芳志は一口5000円です。来年発行予定の第26号で、ご協力いただける方は支部事務局へご連絡をお願いいたします。</p> 
---	---

「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」にご協力を

「津山高校を応援したい」「母校の教育環境整備に協力したい」と思っているOB・OGを対象に、岡山県では、ふるさと納税制度を活用し、学校を指定して寄付ができる「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」を設けています。

津山中学校・津山高校では個人や団体・企業からの寄付金を活用して、ICT機器を整備。課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び(いわゆるアクティブラーニング)を実践し、指導方法の充実、授業改善への取り組みを発展的に進めるため、ICT機器を整備し教育環境を整える予定にしています。

寄付金の目標額は1,500万円。平成29年度から令和2年度までの4年間、個人や団体・企業から寄付金を募り、ノートパソコンとプロジェクター、実物投影機を各14台、大型液晶テレビ3台、タブレットパソコン45台の整備充実を図りたいとしています。詳しくは、<http://www.tuyama.okayama-c.ed.jp/graduate/furusato/index.html> をご覧ください。お問い合わせは津山高校(0868-22-2204)まで。

寄付をすると、個人の寄付金はふるさと納税の対象となり、税控除が受けられます。法人の場合は寄付金額の全額を損金算入することができます。なお、返礼品はありません。

活躍する県南支部会員

「タバコマニア」経営 坂本 将紀 さん

同窓生の皆さん、はじめまして。私は現在、岡山駅前（本町）にて、たばこ屋を営んでいます。小さなたばこ専門店です。最近、大きな顔をしてたばこ屋ですなんて言えたもんでもありません。それでも人に恵まれ支えられ、店を構えて10年目になりました。

私は、平成4年に津山高校を卒業し、10年以上会社勤務をしておりました。その会社がたばこの自販機会社だったのです。そして、どうせやるならとことんまでやってやろうという私の性格から、独立開店させることを思い立ったのです。最初は、どうなることかと見切り発車のスタートでしたが、おかげさまでなんとかここまでやってこられました。

100対ゼロなことってありますか？ たばこの百害は否定しませんが、その人なりの一利はある

んじゃないでしょうか。津山高校の同窓生の皆さんは様々な分野の第一線で活躍されていますが、大変な毎日に疲れたなあって感じている方もいることでしょう。たばこをどうぞとは勧めませんが、ときには足を止めて心と身体に一服させてあげるのも必要かなと思います。



（さかもと・まさのり。平成4年卒。津山市・鶴山中学校出身。岡山市南区在住）

岡山商工会議所 高矢 久史 さん

46期生の高矢と申します。現在、商工会議所に勤務し、地元の中小・小規模事業者様のお役に立つべく日々奔走しております。

平成29年度までは西大寺支所に勤務し、地域のイベント運営を担当させて頂きました。なかでも岡山の誇る三大奇祭「西大寺会陽」は動員人数約4万人、2本の宝木をめぐる争奪戦を行う激しいイベントですが、事故やケガを未然に防ぐために警察や消防をはじ



め各種団体、地域住民の方々と裏方としてイベントを支えていく中で、本当に色々なことを学ばせて頂きました。

平成30年度から本所の金融支援課に異動し、融資や補助金、起業支援の業務に携わっております。昨年の西日本豪雨では復興補助金や貸付制度の申請支援をさせて頂きました。申請作業は非常に煩雑で、被災により気持ちが落ち込んでいる事業主にとって、普段書き慣れない申請書類の作成はとても大きな負担でした。少しでも力になればと締め切り直前まで作業を手伝い、無事補助金採択の通知を受けた際には声を上げて喜び合いました。災害復興に微力ながらも貢献できたことは、自分にとって本当にかげがえのない財産となりました。

現在、吉井川を介して津山とつながる“第二の故郷”西大寺に住居を構え、地元小学校のPTA会長や体協委員を務め、地域貢献の一端を担わせて頂いております。今後も公私共に地域に貢献し、全国で活躍する津山高校卒業生の皆様に負けぬよう、精進させて頂きたいと思っております。

（たかや・ひさし。平成7年卒業。津山市・中道中学校出身。岡山市東区在住）

いきいき 同窓生

岡山市立市民病院 藤井 千夏 さん

皆様はじめまして。高校1年時に新校舎が完成し、プレハブ校舎から机を持って移動したことを鮮明に覚えています。その2年後の平成13年に卒業しました。今では国の重要文化財に指定されている旧校舎の職員室も当時は使用されており、一度（だけではない気も…）テストでひどい点数をとってしまった時に担任の先生に呼び出されたことも今となっては貴重な良き思い出です。

そんな私は、香川大学を卒業した後、倉敷中央病院で秘書としての勤務を経て平成26年から岡山市北区の北長瀬駅に直結している岡山市立市民病院の中で、県南支部長でもある松本理事長の秘書として勤務しています。

その傍ら、研修医獲得のためのリクルート活動にも力を入れ、医学部の学生さんが見学や実習で多く訪れてくれます。中には津山高校出身者もいてその際にはつい地元トークに花が咲いてしまいます。説明会も開催するのですが、県内数ある病院の中で当院を研修先としていかに選んでもらえるのか、魅力を伝えるために試行錯誤しながら一人一人の学生さんと日々向き合っています。やり取りをした学生さんが当院を選んでくれた時の喜びはひとしおで、研修医となった後も成長の姿を陰ながら見守っていま

す。

また、理事長には診療に専念してもらうため事務的なことを請け負っておりますが、業務の幅は広く、アポイントの調整や電話対応だけではなく会議の準備、運営等多岐に亘ります。幅広い業務ゆえ、その都度勉強になることも沢山あり、秘書業務の奥深さを現在でも感じています。理事長を訪ねて来られる方の中にもやはり津山高校出身の方がおられ、その都度反応してもらえるので卒業生であるありがたみを実感しています。

当院には私の他にも卒業生が多く勤務しており、一丸となって病院を支えています。私もその一人として微力ながらも力を発揮しながら、常に気配り・心配りを念頭に置き理事長秘書として、また、研修医のよき相談役としても邁進していけるように頑張っていこうと思います。

北長瀬周辺に来られた時には、ぜひ当院へお立ち寄りください。皆様にお会いできる時を楽しみにしています。

（ふじい・ちなつ。旧姓・渡辺。平成13年卒業。津山市・鶴山中学校出身。岡山市北区在住）



株式会社リオス ICT ビジネス事業部 武村 峻平 さん

株式会社リオス入社3年目の武村峻平と申します。私は現在システムエンジニアとして自治体様向けの介護認定システムの導入から運用保守に携わっています。これまで2年間社会人として歩んできて、最近仕事に対する考え方が少し変わりつつありますので、今回はその部分にフォーカスを当て、文書を書かせて頂きます。

現在私は自分にとっての仕事の「面白さ」を見つけようともがいている最中です。

これまで仕事は生きていくためのお金を貰うために仕方なくするものだと考えてきました。それが普通だと思っていました。そのため、仕事に「面白さ」を求めることもありませんでした。ですが最近になって、ただお金のためだけに毎日約8時間も費やしていると考えると、あまりに勿体ない気がしてきたのです。

きっかけは今年の3月に受講した、パラダイムシフト（物事の捉え方、価値観を変えること）に関する研修でした。「何かに失敗したときは、その原因となった行動ではなく、原因となった行動をとるきっかけとなった考え方を見直すべき」という内容が強く印象に残りました。丁度その頃、日々の過ごし方に対して「このままでいいのか」と漠然と悩み始めていた私は、仕事に対する考え方を一度見直してみることにしま

した。もしプライベートの時間に加え、仕事の時間も「面白い」ものになったとしたら、自分の人生は「面白い」で溢れかえる。今よりも毎日が楽しくなるに違いない！ 何とも単純ではありますが、こうして私は仕事に「面白さ」を求めると決めました。

考え方が変わることによって、行動も変わります。仕事に対して以前より少し積極的になりました。今年は「はい、私がやります」を掛け声に、勉強会や研修への参加など色々なことに挑戦しています。まだ自分が知らない場所に「面白い」ことが隠れているかもしれませんので。

僅かながら日常生活にも影響がありました。私は読書が趣味で年間80冊前後の本を読んでいます。これまではその内のほぼ全てが小説でしたが、知見を広げるためビジネス書や経済書を読むようになりました。時間は掛かりますが、いざ読んでみると意外と面白いものが多く、つい先日家の本棚の一角にビジネス書用のスペースが出来ました。

小さな変化ではありますが、何だか一歩前に進めたような気がして嬉しかったです。今後も変化を積み重ね、近いうち自分にとっての仕事の「面白さ」を見つけ、金銭だけでなく心も充実した人生を歩んでいけるよう、悩みながらも前へと進んでいきます。（たけむら・しゅんべい。平成23年卒。真庭市・久世中学校出身。岡山市在住）



十六夜絵画クラブ

絵を描く、絵を観る、よく喋る。

毎月第一火曜日に例会を開いています(原則です。都合で変更もあり)。現在会員は19人、うち同窓以外の方が4人です。毎回10人程度出席して楽しい時間を過ごしています。

テーマも画材も素材も自由です。

個展や公募展に出品する人もいて多士済々です。

◇例会の場所 岡西公民館(岡山市北区下伊福西町)

◇お問い合わせ先 筆保博文さん(昭和34年卒)

電話086-279-7262



カラオケ同好会

毎月第1火曜日を中心に、岡山市北区田町の「カラオケバンバン田町店」で例会を開いています。

■連絡先 皆木浩二さん(電話086-292-0626)



いざよい社交ダンス同好会

ご興味がある方のご連絡をお待ちしています。

■連絡先 大塚利子さん(電話0863-51-2348)

福田富男さん

(電子メール fkdt @ mx1.tiki.ne.jp)



釣り同好会

毎年1、2回、近隣の瀬戸内海で釣りを楽しんでいます。

興味がある方のご連絡ください。

■連絡先 中山頼和さん(電話086-282-4199)

福田富男さん(電話0869-34-4590)

いざよいゴルフクラブ、歩こう会

ただ今、活動を休止中です。

新しい同好会の設立を希望される方は支部事務局(電話090-4801-6483。電子メール mykatayama@vesta.ocn.ne.jp)にご連絡ください。



「ビアパーティー2018」を開催



県南支部の「ビアパーティー2018」を昨年9月8日、岡山市北区下石井のアークホテル岡山で開催しました。総会・懇親会の開催年ではない年度の会員親睦行事として企画したもので、会員約110人の参加がありました。

松本支部長の開会あいさつに続き、昭和29年卒・安東醇さんのご発声で乾杯し、和気あいあいとした



雰囲気の中で、懇親に入りました。少し酔いが回り、雰囲気が盛り上がり上

ってきたところで、出席者が自己紹介。アトラクションのじゃんけん大会ではボルテージが最高潮に達しました。



支部ではここ最近、若い世代の出席を呼び掛けており、この日の出席者のうち、平成年代の卒業生が3割近くになりました。来年も開催を検討することになると思います。次回はぜひご出席を。

岡山市内の路面電車を貸し切った「ビアパーティー同窓会」も計画しています。ホームページなどでお知らせしますので、ご参加ください。

支部最新ニュースはホームページで

県南支部のホームページでは、支部の動向が分かる最新のニュースをアップしています。アドレスは <https://www.tsukou-kennan.org/> です。支部の最新ニュースをお伝えする新着情報、同好会の活動報告、会報「県南クラブ」のバックナンバー紹介、支部のイベントを写真で紹介する「ギャラリー」などで構成しています。ぜひアクセスしてください。

支部事務局より

支部にご連絡がある方は、会報に同封している「総会・懇親会」の出欠返信はがきを利用してお知らせくださるようお願いします。

岡山県立津山高等学校同窓会

岡山県南支部会報「県南クラブ」第25号

2019年8月5日発行

発行人 松本健五

発行所 津山高校同窓会岡山県南支部
〒701-0205

岡山市南区妹尾1120-25 片山淑雄気付
TEL. 090-4801-6483

URL <https://www.tsukou-kennan.org/>